

## 松代町知事・県議補選開票結果

### 《投票率》

	投票総数	投票者数	棄権者	投票率
男	3.264	2.870	394	87.93%
女	3.532	3.126	406	88.51
計	6.796	5.996	800	88.23

### 《投票結果》

知事	塙田十一郎	3.522
	吉浦淨眞	2.051
	浦沢与三郎	146
	計	5.719
県議補欠	高橋十一	4.194
	山岸石松	1.057
	計	5.251

### 郡内各町村開票結果

	(知事)			(県議)		投票総数	投票者数	投票率
	塙田十一郎	吉浦淨眞	浦沢与三郎	高橋十一	山岸石松			
安塙町	2.391	2.108	55	3.901	332	5.451	4.725	86.68%
浦川原村	1.693	1.809	49	2.623	240	3.691	3.201	86.72
松代町	3.522	2.051	146	4.194	1.057	6.796	5.996	88.23
松之山町	2.381	1.687	352	1.895	2.296	5.285	4.496	85.07
大島村	1.780	1.290	53	2.959	143	3.490	3.248	93.07
牧村	2.006	1.385	87	2.921	183	4.057	3.533	87.08
郡計	13.723	9.780	632	18.493	4.251	28.770	25.197	87.59

## 雨の中出足好調

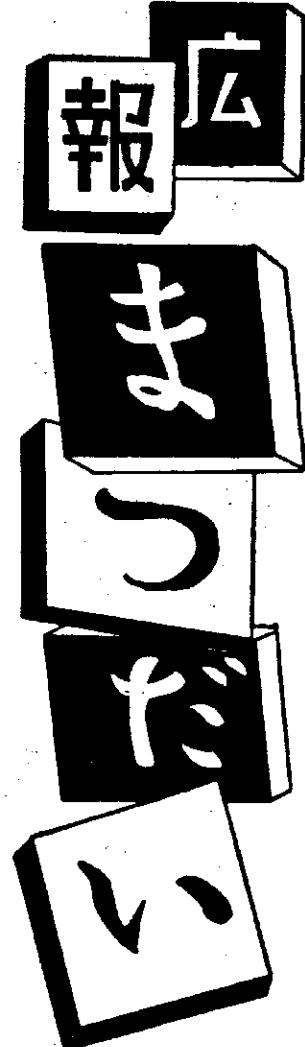
### 投票率 八八・二二%

#### 県知事、県議補選終る

十一月十四日、新潟県知事、東頸城郡選出県議会議員の補選が行なわれました。この日ぐずつき出した天候が雨となり、朝から有権者の出足を鈍らせて、午前中関係者を心配させましたが、それでも午後は、隣近所誘い合せての投票に尻上りに状況をよくした投票風景でした。松代町の場合は投票率八八・二三%で、これは郡内第二位（一位大島村九三・〇七%）上越管内では第五位でした。

今日は出稼ぎ時期でもあり、心配されたのですが、不在者投票を早目にすませてもらい、選舉管理委員会も大変喜んでおります。

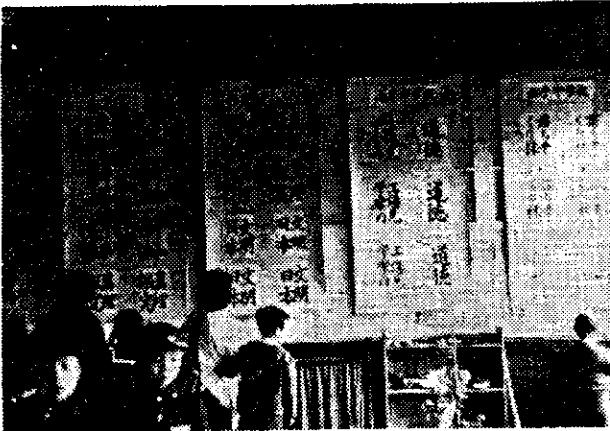
尚松代町の投票結果及び、郡内の結果は次の通りです。



昭和40年11月30日発行  
第111号  
東頸城郡松代町公民館  
館長 富沢 清次  
電話 松代 6番  
印刷 松代印刷所

## 文化祭

盛大に開催される

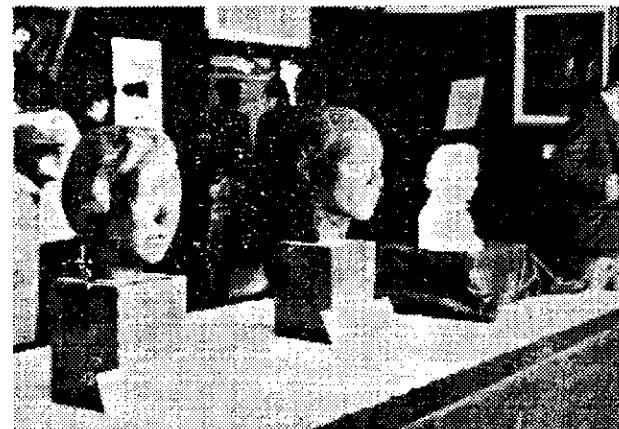


(文化祭会場風景)

恒例の松代町文化祭は、菊の香がおる十一月二、三日松代小学校を中心に、各団体総合の文化展を開催しました。今年は例年にはない秋の収穫の早さと、当日の天候もあって、参観者があとを絶たず、年々充実される内容に、熱心に見入っている姿を随所でみる状況でした。先ず町内各小中学校の児童生徒作品展が新校舎七教室を使用日頃の学習の効果を発表、町当局では一年間の行政の歩みを紹介する写真展、農協を主体にする産業展、書道クラブの書道展、県立松代高等学校の作品展、婦人会の生活展、自然愛護会の野鳥保護のための巣箱展、茸の種別展、波海川における石の種類など、又町内愛好者の美術展、生花クラブの生花展、松代婦人会のバザー等、広い学校も所狭しの感がいたしました。又国道三又路では菊花松光会主催の菊花展に道行く人達の足をとめさせ、盛んな状況は関係者を喜ばせました。尚本年度は松代小学校生徒、五年六年全員が大菊一人一鉢の栽培を行い、この文化展の随所にかぎられ、一段と参観者を喜ばせてくれました。



松代小学校児童の栽培菊



美術展会場

——実績ある学校へと  
続々……  
町内各校に見学者

◎年賀状は

十二月二十一日迄に

年賀状は、十二月二十三日以降に出されると、元旦に配達するこ

とがむずかしくなります。

昨年は十二月二十二日に年賀状が一度にどっと出され、郵便局では処理に困ったことがありました。今年はぜひ早目に書いて、年賀状受付日の十二月十五日以降なるべく早くお出しください。

●年賀状の出し方

①年賀状は、自分が住んでいる市町村内あてのものと、それ以外のところへあてたものに分ける。

②「自町あて」または「他市(町村)あて」と書いた紙をそえて、別々にしばる。——こ

うして出してください。

●あて名はとくに正確に年賀状の宛名は、とかく省略しがちです。ことに都道府県名、郡名、番地、肩書きなどを書かないものが多いうようですが、郵便局では大変困ります。ぜひ正確にくわしく書いてください。また、お子さん宛の年賀状は、世帯主名(肩書き)を団地、アパートのかた宛のものは、棟、番号を必ず書いてください。



にある大町校でもこうしなければと主張される現状でした。又児童の学習も見学、山の子どもだからとの概念で見たら大変だ、山の子こそ町に無いものを多くもつていると熱心に話合われ、時間ぎりぎりまで、隅々まで見て歩かれた状況でした。この様に町内各学校に校し、この所忙しいとの校長先生方のお話です。